

福島県防災アプリ

3月27日運用開始

県防災アプリ あす運用開始

安否情報共有機能も

県はスマートフォンで災害時の避難情報などが確認できる公式アプリ「県防災アプリ」と情報サイト「防災ポータル」の運用を27日から始める。自然災害が頻発・激甚化する中で県民の防災意識を高める狙いがある。25日、発表した。

アプリは、自分に合った避難計画を作る「ふくしまマイ避難シート」の作成をはじめ、気象情報や避難情報を自動で発信するプッシュ通知、災害時に家族や友人と安否情報を共有できる機能などを持つ。サイトは河川カメラや水位観測所の情報などを地図上に集約して表示する。アプリと併用することで適切な避難行動につなげてもらう。

アプリは誰でも無料で

災害時の避難情報などが確認できるアプリの画面



ダウンロードでき、日本語の他、英語と中国語、韓国語にも対応している。アプリストアの審査を経て公開される。

県危機管理課の担当者は「自分に合った避難行動を考えるきっかけになってほしい」と期待している。